

平成28年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

研修会等名	愛媛県食育推進研修会
-------	------------

集計数	254
回収率	86%

Q 1	性別	男	女	無回答			
		4	247	3			
		2%	97%	1%			
	年代	20代	30代	40代	50代	60代	無回答
		42	39	71	88	11	0
		17%	15%	28%	35%	4%	0%
	地域	東予	中予	南予	無回答		
		78	89	82	5		
		31%	30%	32%	2%		
	研修会を知った方法	メール・FAX	HP	口コミ	その他	無回答	
		124	2	2	57	69	
		49%	1%	1%	22%	27%	
講義 I	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答		
	194	51	1	1	7		
	75%	20%	1%	1%	3%		

Q 2

- ・今、子どもたちに教えるために自分が気づかないことが多いことがわかった。
- ・そういう世界もあるのだと知れた。
- ・人間形成に必要な食育には、様々なことがかかわり合っていること、今の子どもたちに必要なことを知ることができた。愛情は注ぐことも大事だが、子どもから受け取ることも大切であることがよくわかった。
- ・料理教室という食育の場での話を聴かせていただき勉強になった。
- ・料理から食事することまで、こんなにたくさん子どもたちに教えていけることがあるのだと知り、自分にとってもよかった。自立に向けての教育の基本だった。
- ・話を聴いて、子どもに対して何でもかんでも言うのではなく、少し見守ることも大事だと思った。園でも真似できることはどんどんチャレンジしていこうと思う。
- ・保育園での食育、クッキングの進め方、子どもへのかかわり方等学べた。子どもの話をしっかりと聞くこと、とても大切だと改めて理解した。日々していると思っていても、できていないことと多々あると思うので、見直したいと思う。
- ・子どもの年齢に応じた食育をしていくことがわかった。また思いやりの気持ちを育てることが必要だと思った。
- ・笑顔の写真を見たら、楽しい料理教室の様子が伝わってきた。
- ・子どもに料理を体験させること（手伝わせる）ことが大切だとわかったので、クッキング（月1回）を大切にしていきたい。
- ・今までとは違った側面からの食育の話の聴くことができた。今後やりたいことが明確に見えてきたように思う。
- ・講師も優しさや愛情にあふれた人で、「食」以外にも、思いやり、想像力、マナーなど考えさせられとてもいい勉強となった。食育が人間形成にこんなに大事で重要なことなんだと痛感した。良い講演でとてもよかった。
- ・子どもたちにどうやって料理を楽しんでもらうか、好きになってもらえるか、工夫がたくさんあって勉強になった。
- ・食育が人間形成に深く関わっていることに改めて気が付かされることが多く、とても身になる時間が過ごせた。
- ・食育とは基本的なことであり、小さい時から育てることが大事なんだと改めて思った。9～10歳で味覚はほぼ完成するから小さいころのうちに五味+旨みを味あわせることが大切。ご飯を食べることは、自分自身の感情の起伏やイライラを防げる（やわらげる）ものなんだと改めて思った。

Q 2

- ・年齢に応じた指導、子どもから出た言葉に沿える言葉で、子どもが変わること。気をつけないといけないと思った。
- ・食育は子どもたちにとってとても大事なことで、その大事なことのお手伝いができることに誇りを持って給食を作っていきたいと思う。
- ・子どもと料理がしなくなった。
- ・子どもに何を伝えたいかを整理することができた。子どもたちに食を通して、自分がわかる、相手がわかる、相手の気持ちを考えることができるよう、食育をすすめていきたい。
- ・保育所で大切にしている食への取り組みにつながるところがたくさんあり励みになった。集団で食事できる場の良さを生かして、楽しくシェアし合える食卓作りやお手伝いをすすめたい。
- ・保育の給食よりも、料理教室の様子が出ていてあまりわからなかった。
- ・子どもにとって成長のために必要である食事を通して、感謝、我慢する気持ち、協調性なども学べるのだと改めて思った。
- ・細かいところ、子どもたちの気持ち、多くのことに気をつけながら料理教室をされており、大変勉強になった。保育園での調理活動を計画する際や実際に行っている最中に心がけたいポイントをたくさん知れた。
- ・食育=食べるだけでなく、生活面及びその子の人生を左右させられることだと気付かされた。
- ・行事に合わせた食器が心の安定につながるとは・・・。自分の子どもの頃を思い返すことができた。
- ・子どもたちとの料理教室の話を交えて、食育とは何か、を知ることができた。料理をすることで感謝の心が生まれ、人のために働く喜びを知ることできる。自分の思っていた食育の概念が変わった。
- ・家庭での食育が健全な形で維持できにくくなった現状の中で食育は必要とされていることがわかった。
- ・猫の手をやめさせた方がいいのはなぜか。食育事業で、左手は猫の手のようにと伝えていた。やめさせた方がいい理由を知りたい。
- ・腐ったものかどうかわからない。確かにそうだな！と思った。大人も守りに入って賞味期限が厳重にされているのでそう思った。
- ・作るだけでなく、いろいろな面から子どもを育てていること。クッキングってすごいと思う。
- ・スクリーンの字をもう少し大きくしてほしい。メモする時間がなく、スクリーンが進んでしまった。

パネル・グループ討議	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	128	115	6	2	3
	51%	45%	2%	1%	1%

Q 3

・各園の取り組みについてとてもよくわかった。深い部分の取り組みと問題点をもう少し具体的に聞けたらよかったかなと思う。

- ・他施設の方の話が聞けてよかった。
- ・他の園も給食に関する問題点などが一緒なんだと思った。話し合いはとても大切だと実感した。
- ・他園の取り組みも真似していこうと思った。
- ・他の園の取り組みが知れて参考になった。また意見交換もでき、いろいろな意見も聞けていい収穫になった。
- ・各自自治体での食育推進の話が聞けてよかった。内容をもっと聞きたかった。
- ・検討会に所長はじめ保育士、栄養士、調理師が参加できてすごいと思った。給食を作る側、食べさせる側の意見が聞けて、本当の検討会になると思う。
- ・他園の食育活動の様子がよくわかった。地域に合ったいろいろな体験を子どもたちにさせてあげたいと思った。
- ・大中小規模ならではのいろいろな取り組み方、また市外の方との意見・情報交換ができた。
- ・他園の給食献立、おやつ献立など聴くことができ、大勢の人数分を作る難しさも共感できた（分量、調味料の量）。殺菌・消毒の仕方も意見交換できてよかった。
- ・他園の調理の様子が聞いて勉強になり、楽しい時間だった。
- ・調理員の体験を聴きたかったのに、市の方が訪問して発表するのは、現場の状況がわかりにくかった。
- ・保育園で実践した様子をパネラーに発表してもらいたかった。
- ・四国中央市のいろいろな保育園の食育活動が知れてよかった。東温市の園の取り組みが勉強になった（給食検討会など）。
- ・今回のパネラーは2人も市の栄養士とのことで、1園だけでなく数園をまとめた発表、市全体としての取り組みがわかりよかった。グループ討議は少し盛り上がり欠けて残念だった。
- ・グループ討議のときの他のグループの発表が少なく、もっと聴きたいと思った。もう少し時間をとってはどうか。
- ・家庭や地域とのかかわりは大切だと感じた。
- ・グループ討議だったが、それぞれの紹介もせず、話したい人がずっと話す感じで、中に入れなかったのが残念だった。
- ・給食参観の実施の多さにびっくりした。市と県とでの大量調理マニュアルの違いは、どちらに合わせたらいいのか、各園へもわかりやすく統一性を持た説明してほしい。
- ・保育所専属の栄養士がいて、業務に集中できる環境の中での取り組みが素晴らしいと感じた。
- ・組織の大きさにもよるが、それぞれの立場の人がかかわりながら意見交換したり、意識統一したりできるのは、とてもいいことだと思った。
- ・取り組みはよくわかったが、問題・課題の改善策や対応など、もう少し聞いてみたかった。グループ討議は情報の交換だけで終わってしまった。
- ・毎年、内容が同じに思える。菜園での収穫、行事食、地域との交流等。発表される園の方の大変であることはわかっているが・・・
- ・共感することが多々あった。衛生面で行事が減る園も多くあり、いろいろ園でも考えていきたいと思った。
- ・地域の差を感じる。保育所給食に理解と大切さのわかる上司がいなくなった。勉強をしてほしい。
- ・話がはずまなかった。同じ机の人たちが知り合い同士で座っていて私語ばかりだった。
- ・南予に比べ、東予は市や各地域の園との交流が密にとれていると思った。今は、どこの園も行事食が難しい。

講義Ⅱ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	197	48	4	1	4
	77%	19%	2%	0%	2%

Q 4

- ・調理師として母として大変ありがたい話だった。
- ・食育に関して、一つひとつわかりやすく話してもらった。
- ・具体的でわかりやすい。ちゃんと生きていかなくては、と改めて思った。
- ・市（各園）によって取り組み方や姿勢の違いに驚いた。もっと自園も話し合いが必要だと感じた。
- ・すごく優しい話を聴かせていただいた。
- ・一つの考え方に捉われず、様々な視点から物事を考えることも大切だなと思った。また保護者にこちらの意見ばかりストレートに伝えるのではなく、思いやりの気持ちを持って伝えることの大切さも学んだ。
- ・わかりやすい話で、最後まで楽しく話を聴けた。視点を変え物事をいろんな角度でとらえて仕事をしていかなければならないと思った。
- ・中尾先生の講義最高！！何回でも何十回でも聴きたい。
- ・なんと素敵なお弁当、子どもの様子。今度は孫と頑張りたい。
- ・食で育むのは心と体、どちらにも重要不可欠なものであることがわかった。
- ・保育園の栄養士としてではなく、一人の人間として話を聴くことができたと思う。園児に伝えるべきこと、自分の両親への思いなど、いろいろなことを考えさせられた。
- ・スライドがとてもわかりやすかった。
- ・話す言葉にリズムがあり、話も面白かった。いろんな分野のことを話されており、いろいろと勉強になった。最後はとても感動した。
- ・だし等の食の重要性、伝承の重要性に気が付いた。
- ・自分が動くことにより、食育の取り組み方や食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を行うことができる人を育てることなんだと思った。
- ・明るく元気に、子どもたちに接していきたいと思う。
- ・今回お聞きしたことを心に抱いて、これから接していきたいと思う。自分が伝えていけるものを改めて考えていこうと思う。
- ・子どもを預かる立場として考えさせられた。心の栄養を考えたことがなかった。
- ・すべては愛なのかなと感じた。愛なくしては何も始まらないと感じた。
- ・和食は世界遺産。守っていかないと消えていくものであることが印象的だった。継承していくためには、教育していくこと、子どもに見せたり体験させたり、考えたりする機会を作り逃さないようにしたい。
- ・パワフルな講義に愛がいっぱい詰まっていた！
- ・内容が身近な感じでわかりやすかった。
- ・話題に強弱があり引き込まれた。
- ・大きなテーマの話で、様々な方面のことについて話されていたが、どれも心に残る内容だった。
- ・納得することも多く、面白おかしく、時には涙ありの内容で非常に充実していた。
- ・話がよく飛んだが、エッセイを読んでいるようで聴きやすく、眠くならなかった。最後は感動もあった。
- ・私の人生において道しるべになった。
- ・講演を聴いて「家に帰って早く子どもたちを抱きしめたい」と感じた。もっと愛を注ぎたいと思う。
- ・早口だったので聞き取れないところはあったけれど、生きていく中でとてもためになることが多く、仕事もがんばろうという気にさせてくれた。
- ・最初は「大きな声で怖そう～」と思っていたが、楽しく話を聴くことができた。子どもたちとの弁当の日のスライドを見て感動した。
- ・行動をほめるのではなく、喜ぶこと。実践したいと思う。
- ・とても楽しい内容の濃い講義だった。ペットボトルから見える食生活・・・勉強になった。中尾先生の話は楽しい。また講義を受けたい。ファンになった。
- ・心の栄養をいただいた気がする。
- ・人間力を感じた。
- ・親子、義母との関係、もう一度考え直したい。保育園の保護者との関係、正論じゃなく心でつながっていききたいと思う。
- ・心揺さぶられる話がいっぱいだった。愛について考えさせられた。食育を超えた講演だった。
- ・声が大きくはきはきとしていてよかったが、読んでくださいと言われても後ろの席では見にくく、スライドも早くついていけなかった。

全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	176	62	7	3	6
	69%	25%	3%	1%	2%

Q 5

- ・涙の出る話の内容でとても感動した。
- ・勉強になることがたくさんあり、他の園の取り組みも聞けて、これからの食育に対して参考になった。
- ・わかりやすい研修で、今後の食育につなげていきたい。
- ・大変いい経験（勉強）をさせてもらった。
- ・研修会の時期を変更してほしい（雪の影響、インフルエンザの流行）
- ・研修会に参加して、自分自身もだが参加した全体を見ても居眠りしている人が少なく、熱心に聞き入ることができた。もっとたくさん話を深く聴いてみたいと思った。
- ・研修に参加できてよかった。食育一職に対する意識だけでなく、とても奥深く、いろんな面で大切なんだと痛感した。
- ・食を通して子どもたちとどうコミュニケーションをとるか、そしてそれがいかに大事なことが考えることができてよかった。
- ・画面が小さくて見えづらかった。
- ・とてもおもしろかった。
- ・食育について考えさせられた一日だった。一日一日、一食一食を大事に調理していきたいと思う。
- ・どちらの講義も充実したものだった。
- ・意識改革につながるものばかりで、充実感が大きかった。
- ・眠くならずに参加できた研修だった。勉強になることが多かった。
- ・全体的にバランスの良い研修会だった。
- ・来年度も参加したいと思う。
- ・一日という長い研修だったが、とても役立つ一日だった。
- ・とてもいい勉強になった。園に持ち帰り、活用していきたい。
- ・栄養士のパネル討議もあり、昨年度よりも幅広い職種が身近に感じる研修だった。
- ・調理だけ・・・安心で安全なおいしい給食を時間内に出すことだけを考えていたが、外に出ていろいろな環境に身を置くと、考え方も多様になりそのことを間接的にでも子どもたちとのかかわりに生かしていきたい。
- ・経験豊富な先生方の話がよかった。
- ・講義中の照明が暗い。暖房の効きが弱くて足元が寒かった。
- ・研修日は月初、月末は避けてほしい。時期も年明けでなく、年内（11月頃）に開催をしてほしい。
- ・感性で価値を見出すことも食育の大切さ。失敗をさせなければ成長しない。おじいちゃん、おばあちゃんから知識でなく、知恵を授かること。良い言葉だと感動。
- ・もっと他市町の取り組みについて話があればよかったと思う。監査等で指摘されたことをどう受け止め、食育につなげていくのが課題。
- ・保健所、監査員との三者会談を聞いてみたい。
- ・いろんな職種の方と話せてよかった。今後の仕事に使える話が聞けてよかった。
- ・保育士の立場からだが、栄養士や調理師の方とももう少し話し合う場を持ち、一緒に食育というものを考えていかなければと感じた。そうすることで子どもたちも自然に食に対してのマナーや大切さに関心を持ち、心身共に情緒豊かな成長につながるのだと思った。
- ・インフルエンザやノロが流行している時に開催するのはやめてほしい。
- ・午前と午後、違ったタイプの講師の話だったので、それぞれ気づきがありよかった。
- ・「食育」というテーマが子育てや保育、調理などすべてに通じているいいテーマだった。
- ・ここ3年間で一番楽しい研修だった。
- ・食育推進研修会と名前が変わって、もっと施設長、所長、保育士のこの研修会への参加を望む。県全体の状況を聞いてほしいと思う。
- ・2時間の講義は少し長く感じる。

Q7 今後、取り上げてほしいテーマや講演を聴いてみたい講師など

- ・子どもの食が進む献立作り。
- ・食品別栄養が体に与えるものについて。
- ・食育活動について。
- ・アレルギー児がアナフィラキシーショックを起こしたときの対処法について。
- ・アレルギー、離乳食について。
- ・食育でどんなことを園で行っているのか聴きたい。
- ・各保育園の調理の時間配分や、設備などの工夫、アイデアを知りたい。
- ・衛生的な調理方法など。
- ・簡単な手作りおやつレシピ
- ・食べることの大切さ、生きることの大切さ、素晴らしさをたくさん聴いてみたい。
- ・タレント・・・家事エモンの講演など、また新しい発見がありそうな気がする。作り手が楽しめてないとおいしいおやつもできないと思う。ぜひ実演しながら講義もしてもらえるととても嬉しい。
- ・保育における給食管理の実務研修。
- ・少し前（数年前）の講義で男性の方にお話してもらったのがとても楽しい内容でまた聴きたいと思う。名前は忘れてしまったが、「ヨルマチ」という番組に食育アドバイザーで以前出ていた。
- ・尾木ママ
- ・北斗晶
- ・市町での衛生管理マニュアルと保健所の見解の違いの討議、県監査への対応などを取り上げてほしい。

※課題のみ抜粋

【講義Ⅰ】

- ・保育の給食よりも、料理教室の様子が出ていてあまりわからなかった。
- ・猫の手をやめさせた方がいいのはなぜか。食育事業で、左手は猫の手のようにと伝えていた。やめさせた方がいい理由を知りたい。
- ・スクリーンの字をもう少し大きくしてほしい。メモする時間がなく、スクリーンが進んでしまった。

【パネル・グループ討議】

- ・各園の取り組みについてとてもよくわかった。深い部分の取り組みと問題点をもう少し具体的に聞けたらよかったかなと思う。
- ・各自治体での食育推進の話が聞けてよかった。内容をもっと聞きたかった。
- ・調理員の体験を聴きたかったのに、市の方が訪問して発表するのは、現場の状況がわかりにくかった。
- ・保育園で実践した様子をパネラーに適用してもらいたかった。
- ・今回のパネラーは二人とも市の栄養士とのことで、1園だけでなく数園をまとめた発表、市全体としての取り組みがわかりよかった。グループ討議は少し盛り上がり欠けて残念だった。
- ・グループ討議のときの他のグループの発表が少なく、もっと聴きたいと思った。もう少し時間をとってはどうか。
- ・グループ討議だったが、それぞれの紹介もせず、話したい人がずっと話す感じで、中に入れなかったのが残念だった。
- ・給食参観の実施の多さにびっくりした。市と県とでの大量調理マニュアルの違いは、どちらに合わせたらいいいのか、各園へもわかりやすく統一性を持た説明してほしい。
- ・取り組みはよくわかったが、問題・課題の改善策や対応など、もう少し聞いてみたかった。グループ討議は情報の交換だけで終わってしまった。
- ・毎年、内容が同じに思える。菜園での収穫、行事食、地域との交流等。発表される園の方の大変であることはわかっているが・・・。
- ・地域の差を感じる。保育所給食に理解と大切さのわかる上司がいなくなった。勉強してほしい。
- ・話がはずまなかった。同じ机の人たちが知り合い同士で座っていて私語ばかりだった。

【講義Ⅱ】

- ・声が大きくはきはきとしていてよかったが、読んでくださいと言われても後ろの席では見にくく、スライドも早くついていけなかった。

【全体】

- ・研修会の時期を変更してほしい（雪の影響、インフルエンザの流行）
- ・画面が小さくて見えづらかった。
- ・講義中の照明が暗い。暖房の効きが弱くて足元が寒かった。
- ・研修日は月初、月末は避けてほしい。時期も年明けでなく、年内（11月頃）に開催してほしい。
- ・もっと他市町の取り組みについて話ができればよかったと思う。監査等で指摘されたことをどう受け止め、食育につなげていくのが課題。
- ・食育推進研修会と名前が変わって、もっと施設長、所長、保育士のこの研修会への参加を望む。県全体の状況を聞いてほしいと思う。
- ・2時間の講義は少し長く感じる。